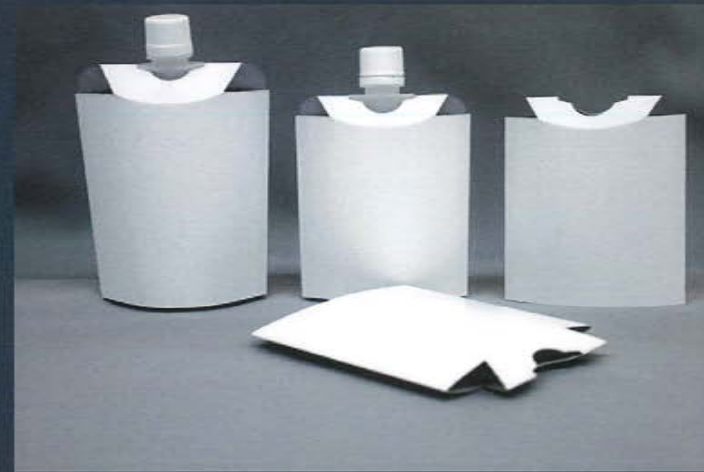


意匠登録済み



Hybridパウチ =
紙箱 + 規格袋 D P
シリーズ

現状の規格袋DPシリーズ

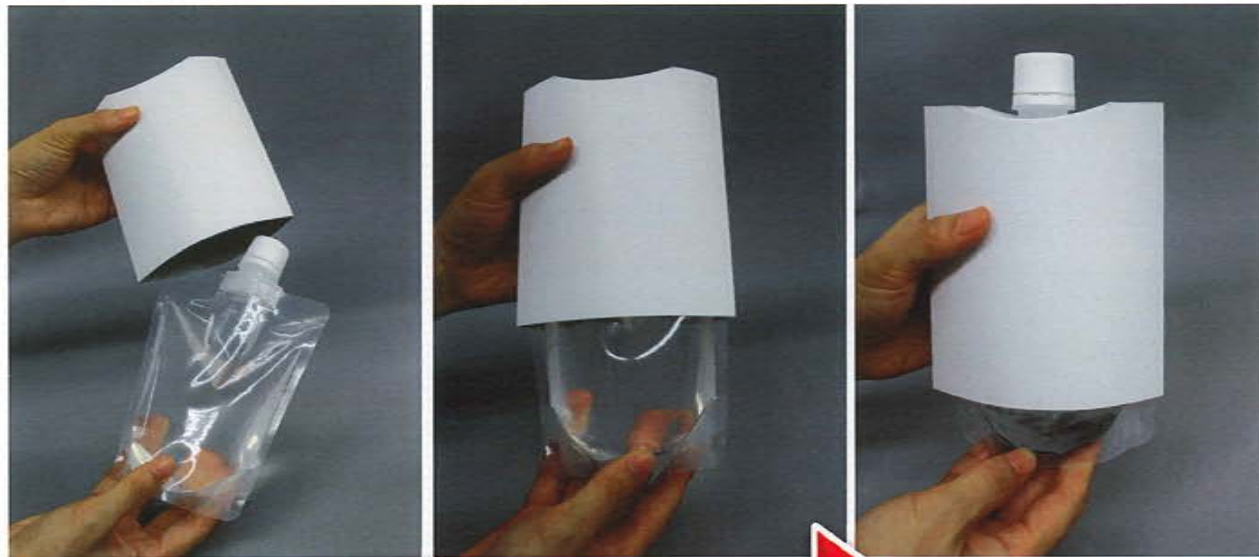
問題点を抽出する



- ✓ 限られたデザイン範囲・表示スペースしか確保できない
- ✓ 表裏を貼りつける手間（＝コスト）が非常に掛かる
- ✓ クオリティーの確保が難しい
貼りに付けた位置は正しいか？傾いていないか？気泡はないか？
- ✓ 殺菌時のフィルムのシワが気になる
- ✓ デザインの差別化が難しい
- ✓ 空袋時にラベルを貼るため、生産ロスがラベルロスにもなる。

ラベルシールから紙箱への転換

高い生産性への改善 = コストダウン



ワンタッチで紙箱を組み立て、

規格袋DPを差し込むだけで完成します！！

紙箱 + 規格袋 D P の機能性

Hybridパウチの特徴



スクイズ性

紙箱に入れたまま、内容物を絞り出したり、注ぎ出すことが可能です

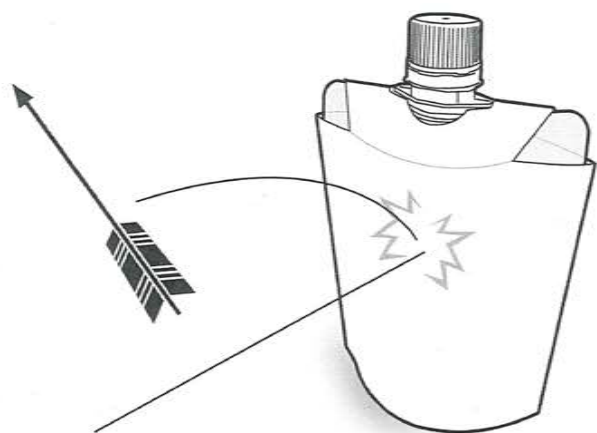
自立性

中身が減っても自立します
パウチだけでは中身が減ったときの自立性確保ができません



紙箱 + 規格袋 D P の機能性

Hybridパウチの特徴

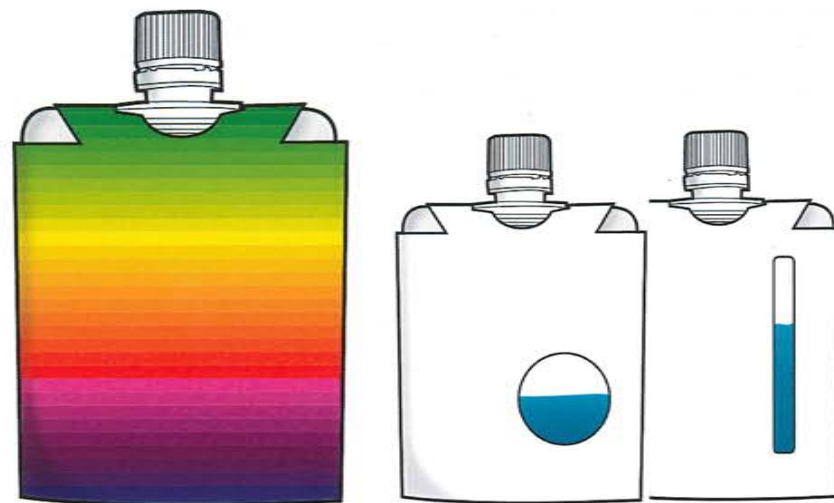


突き刺し強度の向上

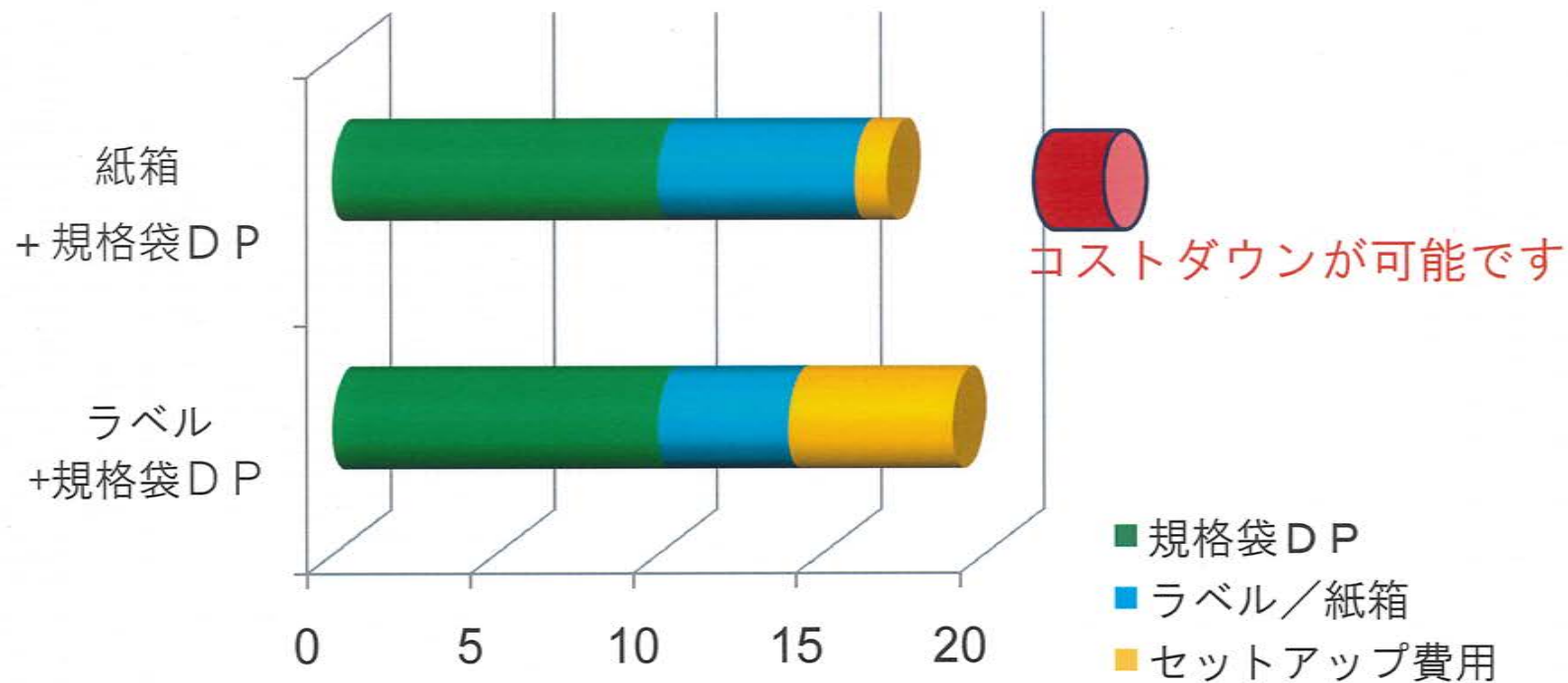
フィルムの弱点を補うことができます
尖ったもの、鋭利なものからパウチを守ります

デザイン表示スペース増

全面に印刷が可能です。
また、紙の加工により「内容物を見せたい」「残量確認がしたい」などの要望にも対応できます。

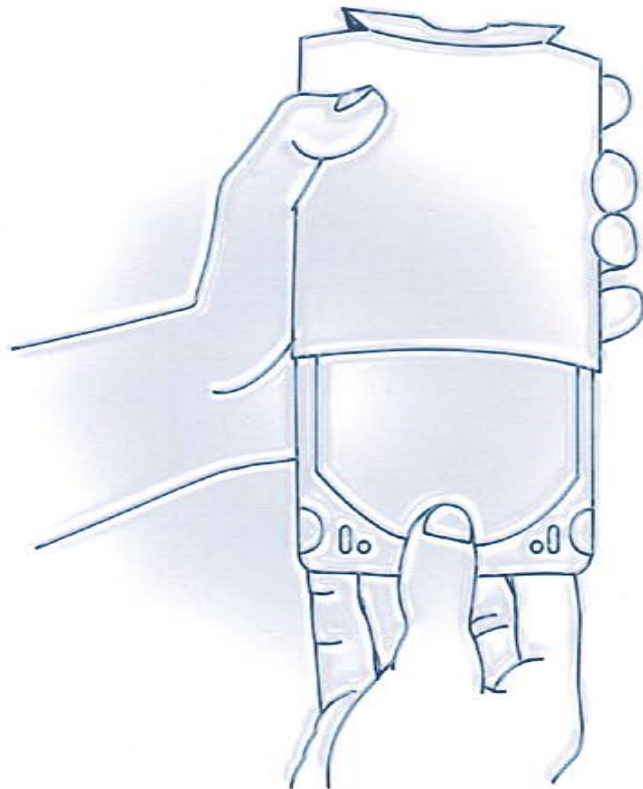


紙箱 + 規格袋DPのコストパフォーマンス トータルコストの削減



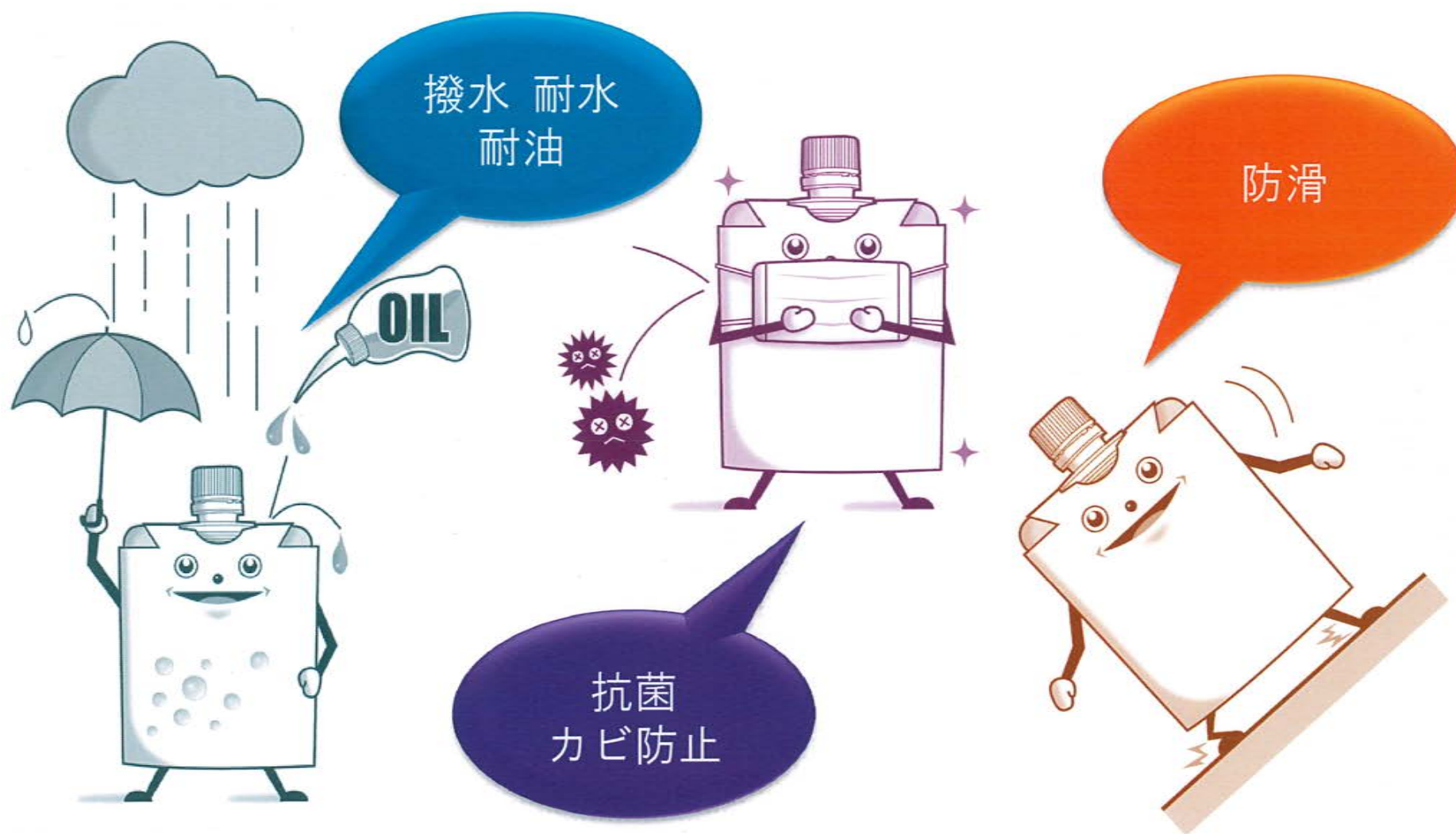
紙箱 + 規格袋 DP シリーズ

現状からの問題点改善



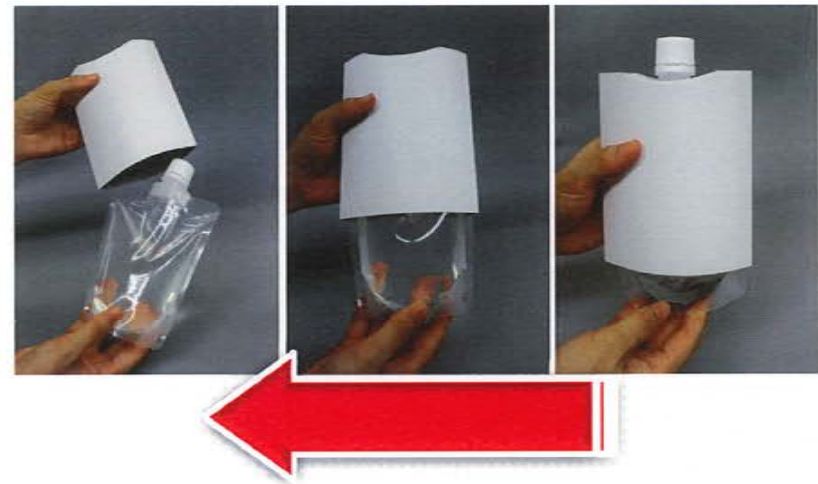
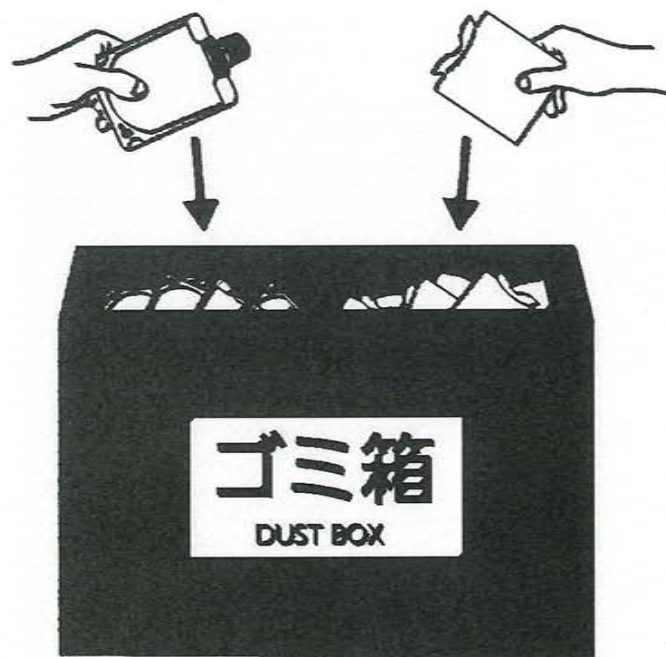
- 謳いたいことをしっかりと表現できる表示・デザインスペース
- 差し込むだけで完成する手間を掛けない高い生産性
- 安定したクオリティーの確保
- デザインの差別化
- 機能性の向上
- トータルコストの削減
- ラベルロスの削減
- 規格袋と同様に多品種小ロットに対応します

用途にあわせ紙箱の機能を利用



廃棄も簡単です！！

分別回収に対応します



紙箱から規格袋DPを取り出すだけで、簡単に分別廃棄ができます